



“ほくらの絵日記”

プロジェクト

-Design for future-

共創モデル“ぼくらの絵日記”プロジェクトは、

地域と世界を循環させる、

日本初「web3、NFTを活用した地域循環共生圏※1づくり」のための茶園発DAO、

「YADORIKI-DAO※2」 の立ち上げに挑戦致します。

※1 環境省ローカルSDGs“地域循環共生圏”とは、各地域が足もとにある地域資源を最大限活用しながら、自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、環境・経済・社会が統合的に循環し、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方であり、地域での実践（ローカル）を目指すものです。引用元:環境省ローカルSDGs.“地域循環共生圏づくりプラットフォーム”

※2 DAO : Decentralized Autonomous Organization分散型自律組織。
特定の所有者や管理者が存在せずとも、事業やプロジェクトを推進できる組織

みなさん、はじめまして。
“ぼくらの絵日記”プロジェクトのファウンダー、
いしい茶園七代園主の石井久和と申します。

神奈川県松田町寄(やどりき)にて、
江戸時代から続く農園を代々営み、
「初代 石井 綱右衛門」から数え、七代目となります。

先代の父から茶園を受け継ぎ、
「代々、丁寧にお茶の木を育てていく」
という理念を守りつつも、
より多くの方々にお茶を愉しんで頂くため、
「新しいお茶の楽しみ方」や
「自然豊かな茶園の心地良さの提供」など、
「お茶のさらなる魅力」を追求すべく、
日々、あらゆる可能性を模索しております。



ぼくらの絵
プロジェクト



-Design for future-

突然ですが、“ぼくらの絵日記”プロジェクトで、実現したい世界があります。

“ぼくらの 絵日記”
プロジェクト

-Design for future-

それは、古き良き“茶園がある景色”を、

現在と変わらずに、

“100年先も、楽しむことができる世界”です。

“ぼくらの絵日記”

プロジェクト

-Design for future-

山あいの茶園が生み出す“日本の原風景”は、我々の心どこか懐かしく、
次世代に引き継いでいきたい大切な場所。



-Design for future-

“日本の原風景”を絶やさず、次世代に繋いでいくために、

いしい茶園では「ひとつぼ園主」も募っております。

“ぼくらの絵日記”

プロジェクト

「みんなで作る、みんなで守る、“日本の原風景”」

こんな思いを実現するために、
「ひとつぼ園主」を募集しようと思いました。

ひとつぼ園主とは、「1坪の茶畑オーナー制」のことです。

「茶園ひとつを1人で管理することはできないけれど、
一坪の茶園なら1人で育てることが出来るかも知れない。」
「実際に茶園の管理をしなくとも、何かしらの力になれるかも知れない。」

いしい茶園HPにて
「ひとつぼ園主」の募集



何気なくある宝に気づき、楽しむ、

いしい茶園HPにて
「ひとつぼ園主」の募集

「ワクワクする未来」って
どんなイメージですか？

中山間地域特有の昔ながらの茶園がある景色。

集落が醸し出す情景によって、

大切なことに“ふと立ち返る”。

-Design for future-

とはいえ、いしい茶園がある

神奈川県松田町寄(やどりき)は、

他の中山間地域と同様に、

過疎化や高年齢化が進み、担い手も減り、

耕作放棄地が増え続けることによって退廃の一途を辿っており、

いしい茶園のみでは、完全に力不足です。

プロジェクト



-Design for future-

退廃から、「持続・成長」へ。

“ぼくらの絵日記”

プロジェクト

-Design for future-

そのために、

“守るべき、古き良きモノ”

と、

“未来を創造し、進化させるモノ”。

“ぼくらの 絵日記”

プロジェクト

-Design for future-

相反する命題にも思えますが、

ブロックチェーン技術を活用したweb3、
主に、NFT(Non-Fungible Token)によって、
地域課題等の解決が可能だと思っております。

“ぼくらの絵日記”

プロジェクト

-Design for future-

“ぼくらの絵日記”プロジェクトが発行する“ぼくらのNFT”は、

今ある景色や文化をNFTにして未来へ繋ぎ、

そして、

NFTによって繋がる新たな仲間と共に新たな景色を地域に付け加えていきます。

“ぼくらの絵日記”

プロジェクト

-Design for future-

つまり、“ぼくらの絵日記”プロジェクトは、

対象地域の、過去・現在・未来をNFTにし、

「日本の文化や伝統を未来に繋ぎ、

そして、新たな未来を創造するプロジェクト」

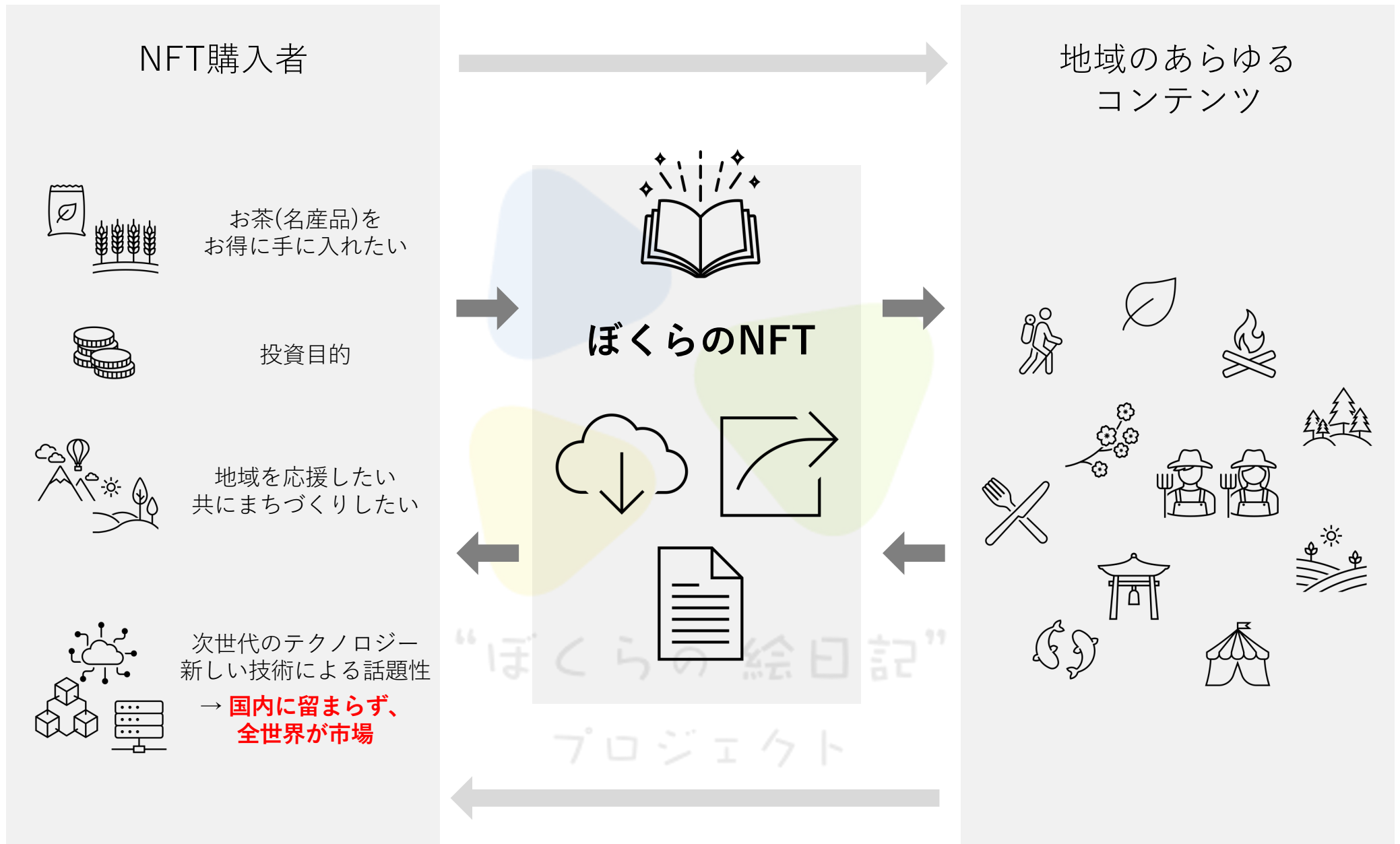
“ぼくらの絵日記”

プロジェクト

となります。

文化や伝統を未来に繋げ、そして未来を創造するために、

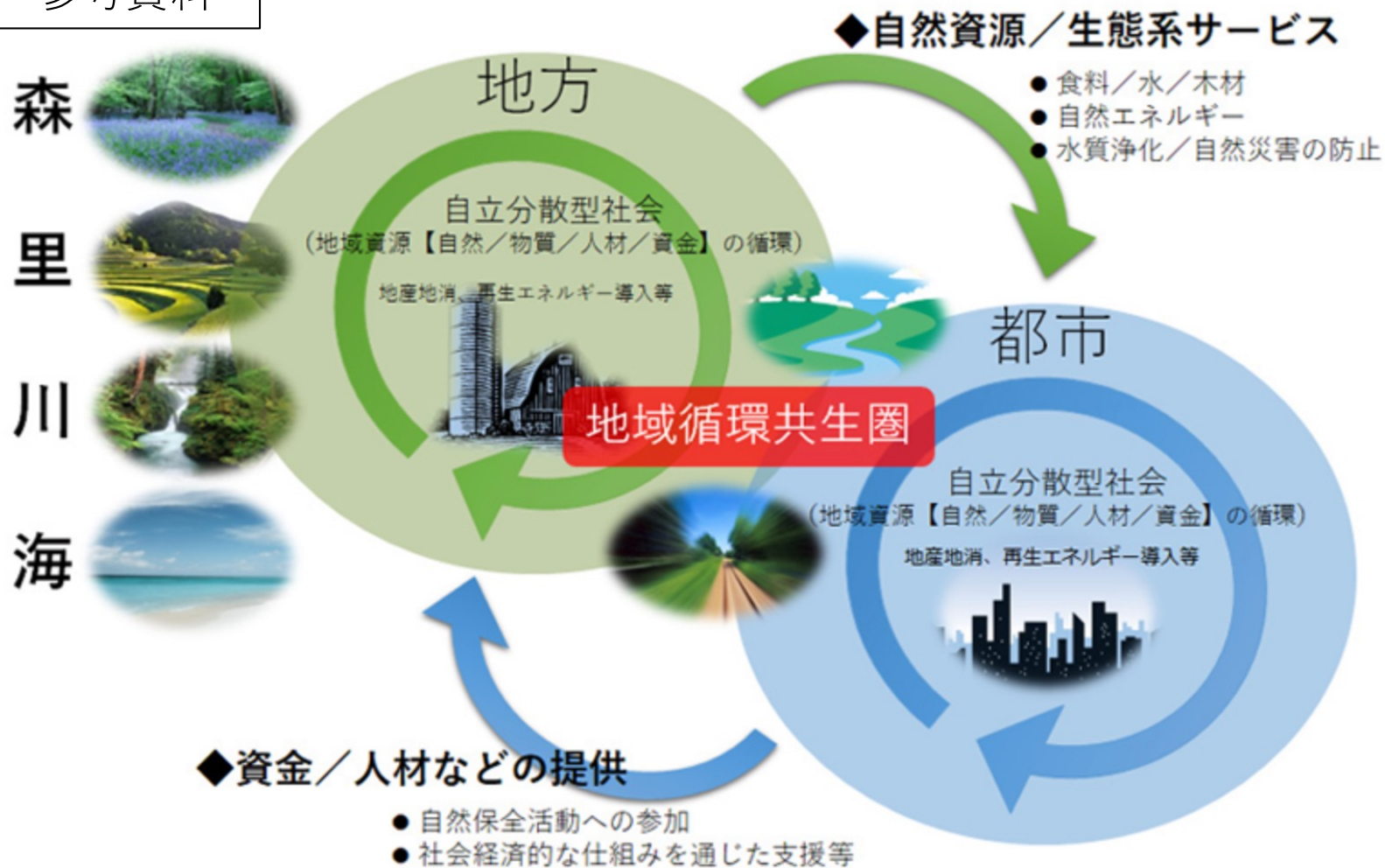
“地域”と“世界”が、より“循環すること”が重要だと思っています。



「環境省ローカルSDGs -地域循環共生圏づくり」

自立・分散型の社会を“NFT”で繋ぐ

参考資料



地域循環共生圏とは ～地域が自立し、支え合う関係づくり～

出典元： 環境省.“環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏づくりプラットフォーム”. <http://chiikijunkan.env.go.jp>

-Design for future-

100年先も楽しめる地域。

それは地域と世界がより”循環する”こと。

“ぼくらの絵日記”

プロジェクト

-Design for future-

そのために、地域と世界を循環させる、
日本初「web3、NFTを活用した地域循環共生圏づくり」DAO、

“ぼくらの絵日記”プロジェクトが、
神奈川県松田町寄(やどりき)にて立ち上げる

「YADORIKI-DAO※2」 となります。





※2 DAO：Decentralized Autonomous Organization分散型自律組織。
特定の所有者や管理者が存在せずとも、事業やプロジェクトを推進できる組織

- NFTはFTと異なり、一つ一つのもものが唯一無二なものとして扱われる
- 誰でもその資産の移転履歴やオーナーシップを証明できる

概要

- ブロックチェーン上で発行される代替不可能なトークンで、誰でもその資産の移転履歴やオーナーシップを証明できる
- 画像、動画、音声等あらゆる種類のデジタルデータをNFT化することができる
- スマートコントラクトによって付随的な機能を組み込むことができる

FTとNFTの比較

	FT (Fungible Token)	NFT (Non-Fungible Token)
概念	Aさんの持つ 1BTC  =  同じものとして扱う	Aさんの持つ デジタルアート (プレミア無し)  ≠  Bさんの持つ デジタルアート (プレミア付き) 同じものとして扱わない
特徴	<ul style="list-style-type: none"> • 数えることができる • 一つ一つのものに唯一性が無い 	<ul style="list-style-type: none"> • 識別可能 • 一つ一つのもものが唯一無二なものである
活用事例	<ul style="list-style-type: none"> • 暗号資産 (BTC、ETH等) 	<ul style="list-style-type: none"> • デジタルアート • ゲームアイテム • 物理的資産 (絵画、不動産等) との紐づけ

出典元： 株式会社 bitFlyer Blockchain.“web3 リサーチ 2023”. 2023年1月1日. <https://blockchain.bitflyer.com>

- NFTとはNon-Fungible Tokenの略で、主にブロックチェーン上で発行される代替不可能なトークンを示す。
- 画像アート、動画アート、音楽等あらゆる分野のNFTが存在する。

アート (画像)

Bored Ape Yacht Club



- Yuga Labs社が制作した類人猿をモチーフとしたNFT
- 全部で1万もの種類が存在し、中には数千万円単位で取引されるものもある

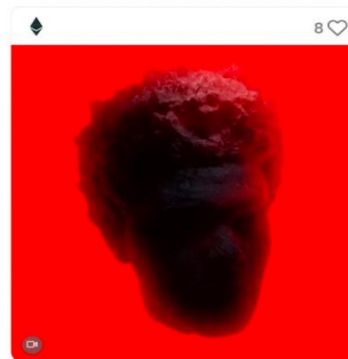
CryptoPunks



- Larva Labsが制作した24×24ピクセルのデジタルキャラクター画像のNFT
- 全部で1万もの種類が存在し、中には数億円単位で取引されるものもある

ミュージック (音声)

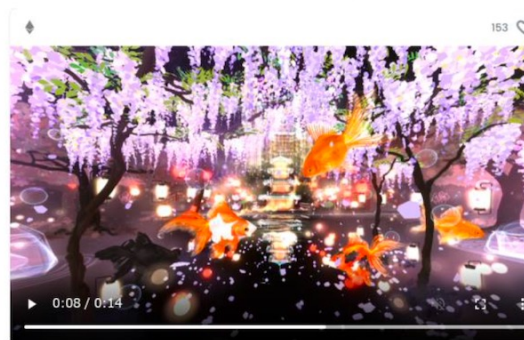
The Weekend



- アーティストのThe Weekendが、Strange Loop Studio社とのコラボレーションで制作したNFT
- 新曲とビジュアル・アート作品となっている

アート (動画)

Alternate dimension 幻想絢爛



- 世界的VRアーティストのせきぐちあいみ氏のVRアート作品
- 2021年3月にOpenSeaで約1300万円が取引された

出典元： 株式会社 bitFlyer Blockchain.“web3 リサーチ 2023”. 2023年1月1日. <https://blockchain.bitflyer.com>

Web1からweb3への変遷

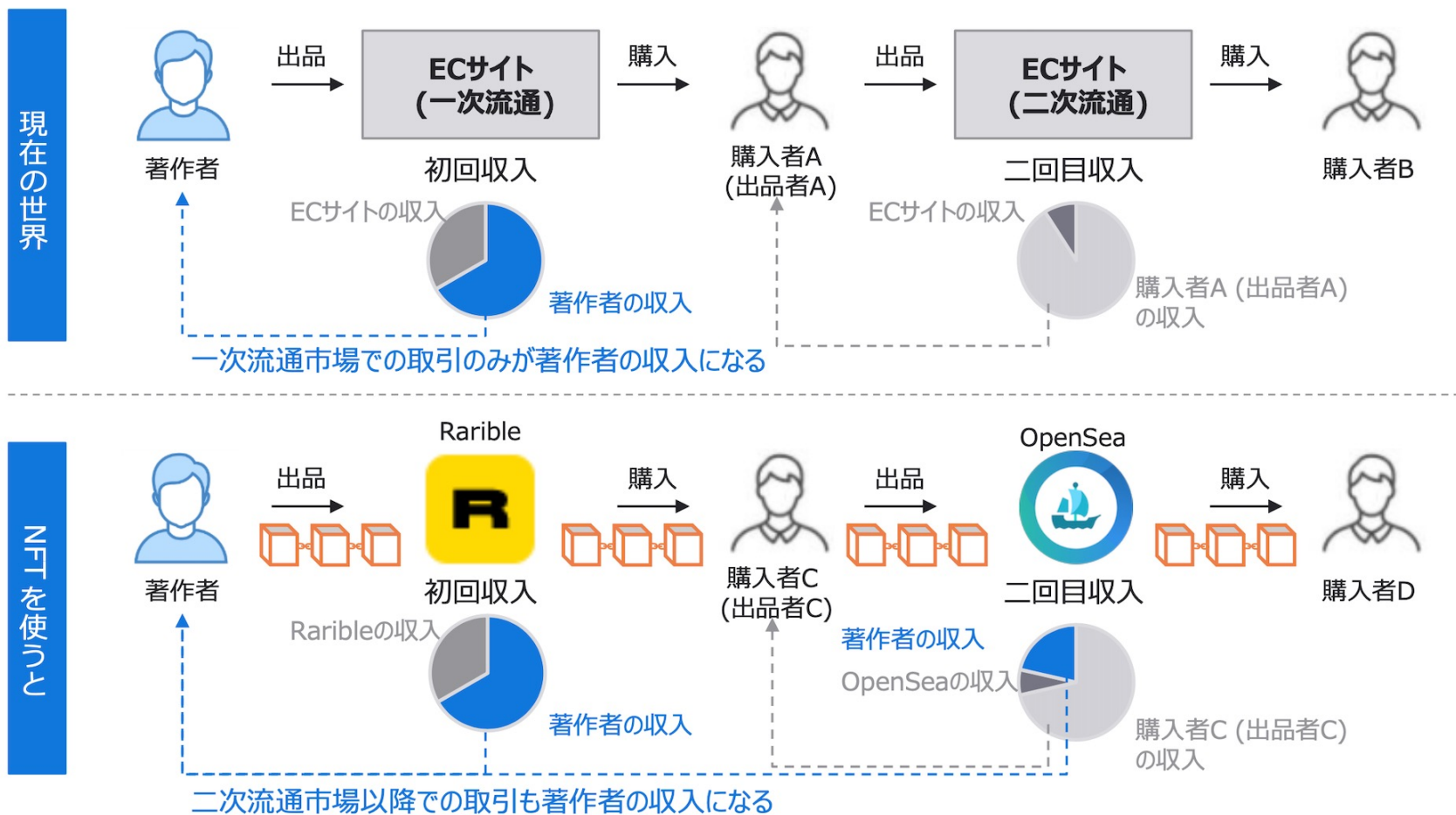
・メディアから一方通行で情報が流れていたWeb1から、ユーザー側も発信ができるWeb2を経て、web3では、ユーザーのデータはインターネット上で、特定事業者の元ではなく、ユーザー自身がデータを所有・管理するようになっている。



プロジェクト

出典元： 株式会社 bitFlyer Blockchain.“web3 リサーチ 2023”. 2023年1月1日. <https://blockchain.bitflyer.com>

- ・アーティストやクリエイター等、コンテンツを創出した著作者が二次流通以降も報酬を得る仕組みを作ることができる。

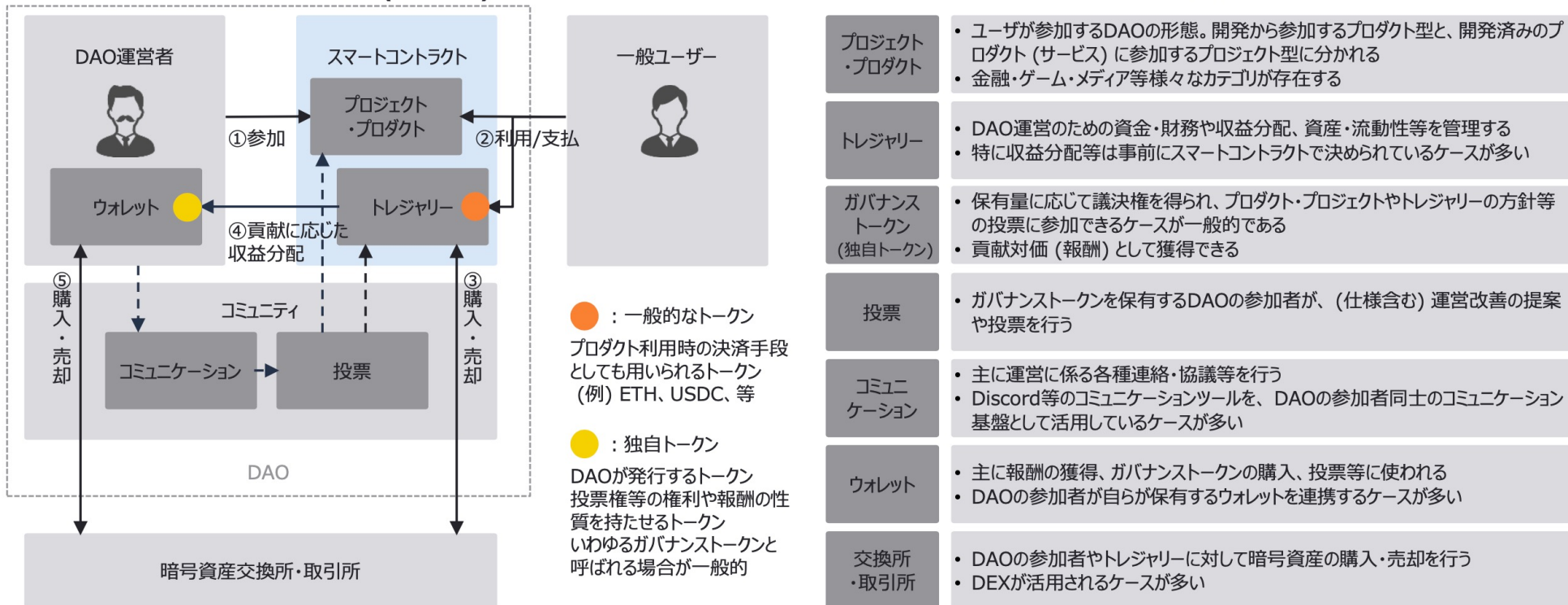


出典元： 株式会社 bitFlyer Blockchain.“web3 リサーチ 2023”. 2023年1月1日. <https://blockchain.bitflyer.com>

DAOの概要	<ul style="list-style-type: none"> • Decentralized Autonomous Organization (分散型自律組織)。特定の管理者なくして事業を推進可能な組織を指す • 参加者間であらかじめ合意されたロジック (スマートコントラクト) に基づき運営・収益分配等を自動執行する • 運営方針 (スマートコントラクト) に係る提案・変更等は参加者の投票により意思決定がなされる
活用メリット	<ul style="list-style-type: none"> • 組織の透明性が高く、グローバルなコラボが容易 (運営者と参加者は透明・改ざん不可なコードを信用) • 参加者の意向が事業に反映される民主的な構造

仕組み (イメージ)*

構成要素*



*DAOによって、仕組みや構成要素は異なる

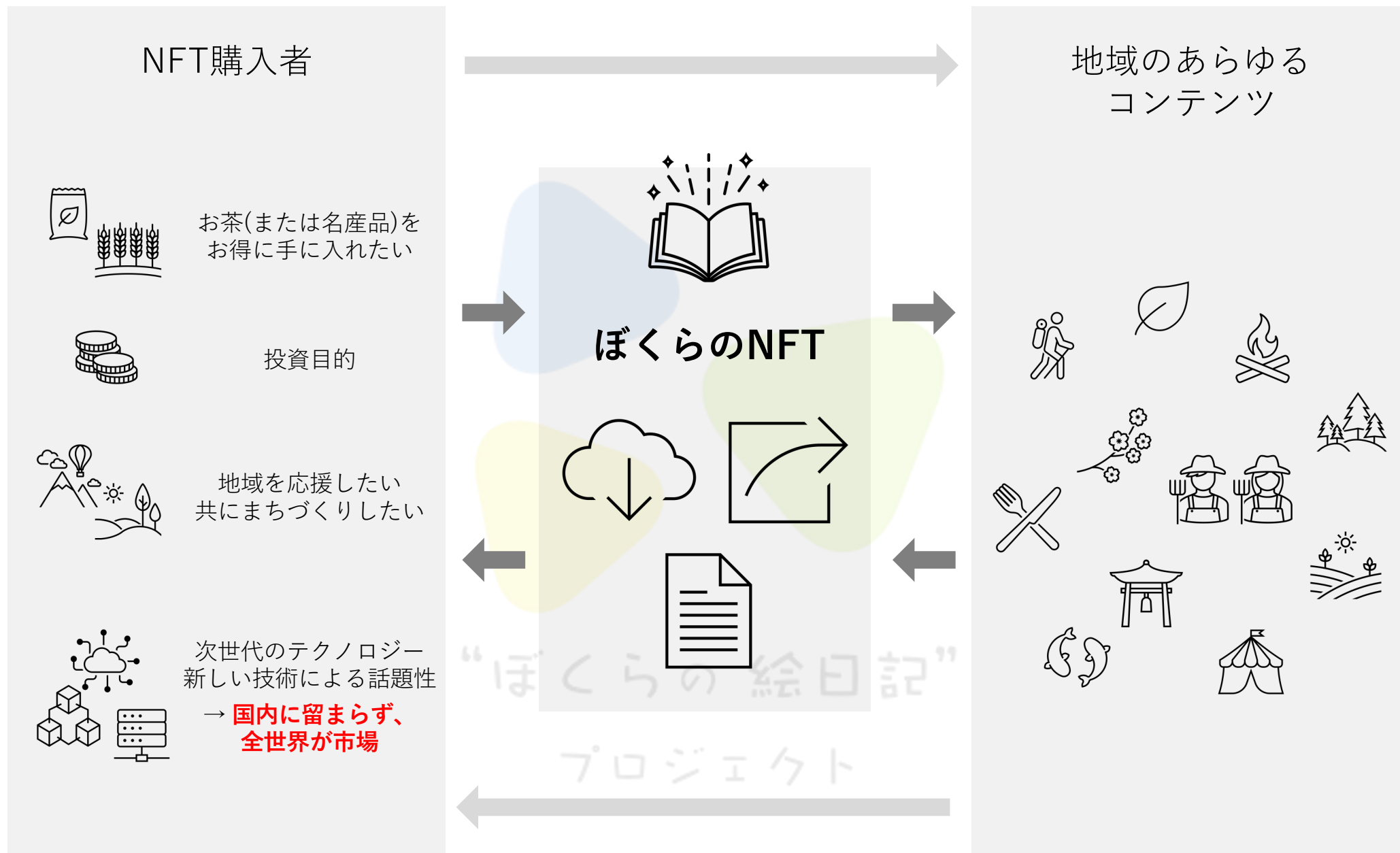
出典元： 株式会社 bitFlyer Blockchain.“web3 リサーチ 2023”. 2023年1月1日. <https://blockchain.bitflyer.com>

- ・従来型組織と比較して、DAOは意思決定においてフラットで透明性が高く、民主的な組織運営を可能とする

	DAO (分散型自律組織)	従来型組織
組織構造	通常はフラットな組織で、完全に民主化されている	通常は階層的な組織となっている
運営方針の決定方法	変更を実行するにはメンバーによる投票が必要	単独の当事者からトップダウンで変更が要求されることがあるが、投票が行われる場合もある
投票結果の開示・反映方法	投票は集計され、仲介者なしに自動的に実行される	投票が行われる場合、投票は内部で集計され、投票結果はマニュアルで処理される
サービスの提供方法	提供されるサービスは自動的な方法で処理される (例えば慈善資金の分配)	人間による処理、又は集中管理された自動化を必要とし、改ざんされる恐れがある
情報の公開	全てのアクティビティは透明で完全に公開されている	通常、アクティビティは非公開で、一般には公開されない

出典元： 株式会社 bitFlyer Blockchain.“web3 リサーチ 2023”. 2023年1月1日. <https://blockchain.bitflyer.com>

“ぼくらのNFT”で、地域と世界がより循環する未来。



“YADORIKI-DAO” 立ち上げのイメージ

① NFTの話題性や特性を活かし、地域及び地域課題に関心を集める

→ 地域のコンテンツを模したNFTを発行し販売

② “応援したい”と思われる仕掛けづくり

→ NFTホルダーと共に地域の魅力を開拓しつつ、さまざまなアイデアを集める

③ 地域のコンテンツに“関わりたい”と思われること。（共感）

→ 募ったアイデアを元に、実現可能な新しいコンテンツの立ち上げを模索

④ 「**共に未来を創造していく（共創）**」

“ぼくらの絵日記”プロジェクト による **YADORIKI-DAO** の立ち上げ

“YADORIKI-DAO” 4つのステップ

初期NFTは
限定100体

Step1：みんなで考える

↳ 地域の魅力や文化を掘り当て、新たなコンテンツを想像する。

Step2：みんなで実行する

↳ DAOの各々の特性を生かし、新たなコンテンツを実施/実行する。

Step3：絵日記を描く（新規NFTを発行）

↳ 実施/実行した記念NFT(絵日記)を発行し、世界へ発信する。

“YADORIKI-DAO” 4つのステップ

Step4 : 絵日記(ぼくらのNFT)を活用する

記念NFT(絵日記)を思い出としてコレクト

コレクトした保有数によってDAOの投票権増

記念NFT(絵日記)を売却 → 売却益を得る可能性※3

記念NFT(絵日記)を譲渡 → メンバー増によるDAOの活性化

※3 売却できない可能性があり、また価格の上昇を保証するものではありません。

“ぼくらのNFT” 4つのメリット

【購入側】

【発行側】



お茶(または名産品)を
お得に手に入れたい

お茶または
地域の名産地の
認知・宣伝に貢献



お茶(または名産品)を
より多くの人に
知ってもらいたい



投資目的

「応援」が
資産になる可能性



資金調達

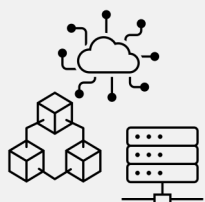


地域を応援したい
共にまちづくりしたい

DAOにより
地域のコンテンツを
共にクリエイション



地域の担い手や
後継者不足



次世代のテクノロジー
新しい技術による話題性

→ 国内に留まらず、
全世界が市場

次世代テクノロジー
新しい技術による
話題性



次世代のテクノロジー
新しい技術による話題性

→ 国内に留まらず、
全世界が市場

“ぼくらのNFT” 4つのメリット - 購入側 -



お茶(または名産品)を
お得に手に入れたい

- お茶等の地域の名産品がお得に手に入る。
 - ・ 限定のNFTを発行し、ホルダーは特別価格で入手が可能に。



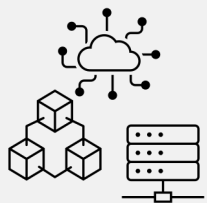
投資目的

- 人気があるNFTは、購入額より高値で取引をされる。
 - ・ 「応援」が資産になる可能性。
 - ・ 自由に売買でき、半永久的な保有も可能。
- ※ 売却できない可能性があり、また価格の上昇を保証するものではありません。



地域を応援したい
共にまちづくりしたい

- 分散型自立組織(DAO)によって、
地域のコンテンツを共にクリエイションできる。
 - ・ 達成感などによる感情的報酬。
 - ・ サポーターがステークホルダーになれる。
 - “株式会社”では株主が1番のステークホルダーになりがち。



次世代のテクノロジー
新しい技術による話題性

→ **国内に留まらず、
全世界が市場**

- NFTの市場規模は、2020年→2021年で215倍の取引金額に。
引用元：三菱UFJリサーチ&コンサルティング.“NFTの動向整理”.消費者庁.2022年6月23日.
 - ・ NFTの市場規模は拡大中。
 - ・ 国内市場だけではなく、海外マーケット拡大の可能性。
 - ・ **地域と共に、新たな価値創造の取り組みが可能。**

“ぼくらのNFT” 4つのメリット - 発行側 -



お茶(または名産品)を
より多くの人に
知ってもらいたい

- 従来と異なる広告宣伝効果を期待。
 - ・ 「地域×web3」は、商品(お茶)以上の魅力を訴求可。



資金調達

- NFTの発行により、幅広く資金調達できる可能性が模索可能。
 - ・ 2次流通によるロイヤリティ。
 - ・ Floor Price(最低落札価格)の上昇による利益。
- ※ 売却できない可能性があり、また価格の上昇を保証するものではありません。



地域の担い手や
後継者不足

- 分散型自立組織(DAO)によって、
地域のコンテンツの促進を様々な角度から検討できる。
 - ・ 移住せずともバーチャルで参画可能。
 - ・ 移住前に地域の特色を知ることができる。



次世代のテクノロジー
新しい技術による話題性

→ **国内に留まらず、
全世界が市場**

- NFTの市場規模は、2020年→2021年で215倍の取引金額に。
引用元：三菱UFJリサーチ&コンサルティング.“NFTの動向整理”.消費者庁.2022年6月23日.
 - ・ NFTの市場規模は拡大中。
 - ・ 国内市場だけではなく、海外マーケット拡大の可能性。
 - ・ **地域と共に、新たな価値創造の取り組みが可能。**

FAQ

Q1. NFTの価格はどのように設定されるか？売却できるのか？

A1. NFTは、ホルダー(DAO)の皆で価値を創造していきます。一点物の高額NFTもありますが、格安/特典付きNFTを用意し、初期ホルダーが気軽に成長を楽しめるNFTとしております。※3

価値創造、プロセスエコノミー

※3 売却できない可能性があり、また価格の上昇を保証するものではありません。

FAQ

Q2. NFTは株と同様に感じるが、なぜ株式会社ではないのか？

A2. 株式会社において一番のステークホルダーは株主ですが、DAOは初期から応援をしてくださっている方や参加者がステークホルダーとなり、また組織の軸となります。

共創

はくらの絵日記
プロジェクト

“ぼくらの絵日記”プロジェクト <まとめ>

“ぼくらのNFT”は、今の景色や文化をNFTに残しつつ、
新たな仲間と新たな景色を付け加えることができる取り組みです。

そして、

共創モデル“ぼくらの絵日記”プロジェクトによって、
“ぼくらのNFT”の所有者たちと、“YADORIKI-DAO”を立ち上げ、

地域発の新たな循環型エコノミーに挑戦します。

プロジェクト

“ぼくらの絵日記”プロジェクト <まとめ>

YADORIKI-DAOでは、松田町寄(やどりき)で“絵日記”を描きます。

そして、ゆくゆくは、日本の各地域が世界と“より循環”できるように、

この“ぼくらの絵日記”プロジェクトを、他地域でもたくさん描くことが出来たらと思います。

“ぼくらの絵日記”
プロジェクト

“ぼくらの絵日記”プロジェクト <まとめ>

“地域にこそ”たくさんある日本の魅力を、共に創造し、そして共に世界へ発信しませんか？

YADORIKI-DAOへのご参加をお待ちしております！

Design for future!!!

“ぼくらの絵日記”
プロジェクト

“ぼくらのNFT”の購入等について

“ぼくらのNFT”は、NFT最大のマーケットプレイスであるOpenSeaにて、
2023年4月4日(火)より販売開始。

<https://opensea.io/ja/collection/yadoriki-dao>

“ぼくらの絵日記”
プロジェクト